

「生きるということ」

第15組安養寺候補衆徒 楠 智広

私が現在参加している真宗大谷派・岐阜教区の青少年教化小委員会では、年間テーマとして「Why are you living?」としました。直訳すると、「あなたはなぜ生きているの?」です。このテーマについて私自身考えてみました。私はなぜ生きているのか?本当に生きているとはどういうことなのか?私は普段漠然と生きています。生きていることを考えていません。生きていることが当たり前になってしまっているのです。いつも通り明日が来るといふこと、毎日ご飯が食べられること、手足を自由に動かすことも当たり前になっているのです。当たり前のように明日の予定を立てたり、1ヶ月後、半年後まで予定を入れていきます。

しかしよくよく考えてみると、今私がいるのは、両親が産んでくれたからであり、その両親も同じように産まれてきたのです。いのちが脈々と私にまでつながっているのです。そして、ここまで育まれてきたのは多くの人に支えてもらったからです。さらに、米や野菜、牛や豚とあらゆるいのちを頂いて生きているのです。多くのいのちのおかげで生きているのに、それを忘れて当たり前になっている自分がいました。また、生を受けたということは必ず死が来る、自分も死んでいくということもすっかり忘れて生きていました。

本当は当たり前ではない世界にいるのに、おかげさまということをおぼえてしまっているのです。だから今自分が幸せということがわからないのです。当たり前ではないこと、おかげさまということをおぼえて直したいと思います。